

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
①生徒一人ひとりの学習意欲を高め、確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む「生き方の教育」を推進します。	
②人権尊重を基盤に置き、豊かなかかわり合いを通して社会性を育み、思いやりの心を育てます。	
③教職員が相互に啓発・連携・協働する活気あふれる学校運営に取り組みます。	
④生徒の実態や地域の特性を生かした教育課程の編成と運営に努め、「開かれた学校づくり」を推進します。	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
担当	豊かな心	学校行事や各教科の活動を通して、生徒の豊かな感性を培い、人権感覚を育み、人とのかかわり合いの中で思いやりを持った行動や発言ができる心を育てる。	①「体育祭」「合唱コンクール」等、学級・学年・学校全体へとつながる生徒自治活動の体験を通して、協力や他者への思いやりなどを意識させ、望ましい人間関係と自己を生かす能力を育てる。【指針1「道徳の時間」「体験活動」の充実】 ②「国際平和スピーチコンテスト」「人権作文」を通し、人権尊重や自分たちの身近な社会、さらに日本の伝統、世界の歴史や現状について理解を深める。【指針2「人権教育・社会教育」の充実】
	人権道徳部		

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

生徒は進んであいさつをすることができ、落ち着いた学校生活を送っている。周囲の状況を考慮しながら正しい判断の元に、自己主張ができること、また自分に直接関わらない物事に対しても目を向け、思いやりの心で接する姿勢をさらに伸ばしたい。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1「道徳の時間」「体験活動」の充実

- ・様々な教材を吟味して、多方面から考えることのできる道徳授業の研究と、その授業内容について教員同士の研修などを行う。【視点1】
- ・生徒が関心を持ち、生徒の心に響く資料の選択および活用と、資料提示の工夫を系統立ててまとめ教材の充実を図る。【視点2】
- ・「体育祭」「合唱コンクール」など学級・学年・学校全体とつながる生徒自治活動の話し合いや体験を通して、協力・他者への思いやりなど意識させ、望ましい人間関係や自己を生かす能力を育てる。【視点3】

指針2「人権教育・社会教育」の充実

- ・キャリア教育を充実させ、進路について望ましい勤労観・職業感を育てる。【視点4】
- ・「国際平和スピーチコンテスト」「人権作文」を通し、人権の尊重や自分たちの身近な社会、さらに日本の文化伝統、世界の歴史や現状についての知識を高める。【視点6】
- ・修学旅行での「平和学習」の事前学習・体験を通して人権尊重の精神を育てるとともに、自他の人権を大切にす精神や、自尊感情の育成を図る。【視点6】